

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年																	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~2日	8月 ~8日	8月 ~14日	8月 ~23日	8月 ~30日	9月 ~6日	9月 ~13日	9月 ~20日	9月 ~27日	10月 ~4日	10月 ~11日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	91	42	46	55	54	92	177	241	55	28	26	50	30	36	24	16	21	18	28
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	39	22	34	39	30	24	63	60	11	26	7	22	10	19	15	10	8	10	8
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	1	0	0	0	1	4	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	13	4	1	2	4	10	7	14	11	4	3	6	5	4	3	2	7	0	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	26	6	20	11	3	9	15	15	4	3	5	4	4	7	2	1	3	2	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	10	10	11	17	8	14	14	11	1	8	2	2	4	1	1	6	1	0	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5	1	1	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	19	10	14	6	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報 令和2年第41週(10月5日~10月11日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3	2				1		
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3					2		1
四類	9	日本紅斑熱	6	1		1			1	3
		重症熱性血小板減少症候群	1				1			
		レジオネラ症	2		2					
五類	5	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1						1	
		後天性免疫不全症候群	1				1			
		ウイルス性肝炎	1				1			
		急性脳炎	1				1			
梅毒	1				1					
指定	37	新型コロナウイルス感染症	37	2				9	23	3

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島市, 江田島市 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町 北…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

新型コロナウイルス感染症

第41週に9件の報告があり、累計は340件(10月11日現在)となりました。「3密」の回避、マスク着用、手洗いなど感染防止に努め、発熱、咳、味覚・嗅覚障害などの症状がある場合は、早めにかかりつけ医やコールセンター(TEL:082-241-4566)に連絡・相談しましょう。

多人数で食事をするときは、飛沫感染や接触感染に注意する必要があります。一人一人が感染予防、拡大防止に努め、おいしく、楽しく、安全に食事をしましょう。

外出時の注意点

手洗い・消毒

食事の前には、手洗いや手指の消毒をしましょう。



メニュー

大皿を避け、個別の料理を選びましょう。



座席

対面を避け、間隔を空けて横並びに座りましょう。



会話

会話は、控えめにしましょう。



持ち帰り

持ち帰りや出前も活用しましょう。



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	急増減	増減	微増減	横ばい	
												↑	↗	↘	→	
小児科	インフルエンザ	-	-	0.21		小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.44		急増減	↑	↘	↘	→
	咽頭結膜熱	9	0.38	0.25		小児科	RSウイルス感染症	-	-	1.67		増減	↗	↘	↘	→
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	0.58	1.68	↘	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↗	↘	↘	→
	感染性胃腸炎	58	2.42	3.88	↑	眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.88		横ばい	↗	↘	↘	→
	水痘	6	0.25	0.17		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		前週と比較しておおむね1:2以上の増減 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減 ほとんど増減なし				
	手足口病	15	0.63	1.77	↑		細菌性髄膜炎	-	-	-						
	伝染性紅斑	-	-	0.24			無菌性髄膜炎	-	-	-						
	突発性発しん	10	0.42	0.46			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.49						
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.38			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-						
							感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-						

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	101	女性(90歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	20	女性(10歳未満)・O26、男性(10歳代)・O26
4	重症熱性血小板減少症候群	1	3	女性(60歳代)
5	ウイルス性肝炎	1	2	男性(20歳代)・B型
5	急性脳炎	1	7	女性(10歳未満)
5	後天性免疫不全症候群	1	9	男性(20歳代)・感染者
5	梅毒	1	47	男性(20歳代)